

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ＆コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	乗用車販売店（経営者） テーマパーク（職員）	・秋には各メーカーが主要車を相次いでフルモデルチェンジするので、相乗効果が出てくる。 ・交通アクセスの改善により、今後も好影響が出てくる。
	変わらない	一般小売店〔土産〕（経営者）	・ガソリン高が続く限り、財布のひもは緩まない。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	・諸物価の上昇が続くため、客の財布は一層厳しくなる。地元企業の倒産の噂が増えている。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・飲食店の来客数の減少は続くため、今後も厳しい状況が続く。
		百貨店（企画担当）	・原油高、原料高の基調は今後も変わらないため、消費が好転する兆しはみえない。
		百貨店（売場主任）	・情報を集めて慎重に買物する客が増加しているため、今後も厳しい状況が続く。
		百貨店（企画担当）	・今後も生活必需品の値上げは続くため、客の購買意欲の減退も続く。
		百貨店（婦人服販売担当）	・ガソリン価格の高騰は続くため、今後も日常生活に影響を及ぼす。購買意欲の低下は続く。
		スーパー（経営者）	・値上げラッシュに歯止めが掛からない限り、回復の見込みはない。
		スーパー（店員）	・商品値上げはまだ続くため、今後も厳しい状況が続く。
		スーパー（営業担当）	・当分、原油価格の高騰に伴う商品値上げは続いていく。それにより、買い控えも拡大する。
		コンビニ（企画担当）	・タスポの取得率は急には上がらないため、今後も変わらない。
		衣料品専門店（企画担当）	・需要を喚起できる要素が見当たらないため、今後も買い控えは変わらない。
		乗用車販売店（経営者）	・来月もガソリン、食料共に値上げされる。生活費の抑制は今後も続く。
		乗用車販売店（営業担当）	・ガソリン価格の高騰は今後も続くため、良くなる要素がない。
		一般レストラン（経営者）	・食材の値上げが続くなか、値上げせずに営業しているため、ランチ客の減少は今のところみられない。今後もこの状態がしばらく続いていく。
		ゴルフ場（企画担当）	・予約数は前年を上回っており、引き続き好調である。また、夏の暑さの反動で、秋には多くの来場者が見込まれる。
		美顔美容室（経営者）	・諸物価の高騰による影響が、今後も続く。
	住宅販売会社（従業員）	・物価上昇により、買い控えは更に進む。	
	やや悪くなる	一般小売店〔自然食品〕（経営者）	・商品値上げは今後も続くため、当面低単価商品へと流れていき、下げ止まらない。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・諸物価の高騰が続くため、採算が厳しくなっていく。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	・ガソリン高が続くため、自動車来店客が減る。
		百貨店（企画担当）	・セール品しか売れず、正価品の売行きは非常に悪いため、来年1月のクリアランスセールまでは非常に厳しくなる。
		スーパー（経営者）	・中小企業の夏のボーナスが悪かったため、所得は増えておらず、今後も消費は伸びない。スーパーの競争も一段と激しくなり、利益は出ない。
		スーパー（店長）	・ガソリン高やまぐる等の水産物を始めとする食品の値上げは今後も続くため、買い控えは一層進む。
		スーパー（店長）	・卵を始め値上がりが続くため、財布のひもはますます固くなる。
スーパー（仕入担当）		・食品全般の値上がり傾向は今後も続くため、消費者の節約も秋口までは続く。	
コンビニ（経営者）		・物価高騰のなか、給料は増えていないため生活が苦しいと言う客が多く、今後も厳しい。	
コンビニ（商品開発担当）		・タスポの取得者が増加するにつれて、来客数は減少する。それに加えて、食品やガソリン価格の高騰による消費の節約志向は更に厳しくなっていく。	
乗用車販売店（経営者）	・8月以降もガソリン、食料品等の値上げが予定されているため、消費意欲の改善は期待できない。		

		乗用車販売店（従業員）	・ガソリン価格の高止まりにより、車の利用を控える客だけでなく、新車購入を取り止める客も確実に増加する。サービス工場への入庫は減少傾向にあり、この状態が続くと非常に厳しくなる。
		乗用車販売店（従業員）	・ガソリン価格の高止まりにより、高額車両の購入客の減少と小型車へのシフトが続く。
		住関連専門店（店員）	・引き続き、高額商品の売行きは悪くなっていく。
		住関連専門店（営業担当）	・今後予定されている設計、新築等の物件が少ないため、悪くなっていく。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・諸物価の高騰の影響で、売上、経営共に年内は厳しい。
		観光型ホテル（経営者）	・所得が伸びていないことやガソリン価格の高騰が続くことにより、個人客は今後も厳しい。企業関係も、収益が厳しいなか、悪くなっていく。
		都市型ホテル（営業担当）	・個人客は、食材価格の高騰や原油高に伴う節約が続く。法人客も、大企業でも費用を削減し始めているため、宴会利用は減少する。
		旅行代理店（従業員）	・客は生活を優先させ旅行は後回しになるため、販売量はかなり減少していく。
		旅行代理店（従業員）	・燃油サーチャージの高騰に加えて、商品値上げも当分続く。それに伴い、売り手側も利益を削って低価格商品を出さざるを得ないため、悪循環になる。
		ゴルフ場（経営者）	・3か月先までの予約状況を前年同月比でみると、芳しくない。今後は、ガソリン価格の高騰と地元企業の業績不振が影響してくる。
		その他サービス〔語学学校〕（経営者）	・業績を向上させる企画は、今のところ準備出来ていない。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・取引先からの値上げ交渉が、秋口から本格的に始まる。
		住宅販売会社（企画担当）	・今月は客からの問い合わせが非常に少ないため、2、3か月先の受注は減少する。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・新築等の引き合いが少ないため、今後も厳しい。
	悪くなる	商店街（代表者）	・所得が増加しないなか、これだけ生活必需品の価格上昇が続くと、今後も売れない。
		商店街（代表者）	・諸物価の高騰が続くため、今後も厳しい。
		百貨店（販売促進担当）	・所得が増えないなか、食費、光熱費の値上がりは今後も続く。
		百貨店（販売担当）	・ガソリンを始め諸物価がますます上昇するため、買い控えが続き、一段と厳しくなる。
		コンビニ（店長）	・秋以降に小麦粉の価格が上昇すると、食料品全般の価格が上昇するため、厳しくなる。
		乗用車販売店（従業員）	・燃料価格の高騰が続く一方で、新型車のモデルチェンジに合わせて販売価格の上昇も見込まれるため、新型車の販売効果は弱まる。
		乗用車販売店（従業員）	・ガソリン価格は当面値下がりしないので、当分厳しい状態が続く。
		高級レストラン（スタッフ）	・予約はある程度取れているが、客の予算は厳しく、客単価は低下する。
		一般レストラン（経営者）	・ガソリンを始め諸物価が毎月値上がりするため、当店でも近々再値上げをせざるを得ない。
		一般レストラン（従業員）	・原材料価格の高騰によって、今後は販売価格に転嫁せざるを得ない。
		旅行代理店（経営者）	・原油を始めとする諸物価の高騰には、歯止めが掛からない。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅建築に対する関心が薄れつつあるため、新たな受注は見込めない。
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	輸送業（経営者）	・原材料価格の上昇は頭打ちであり、年後半に掛けて建築需要の回復が見込めるため、良くなっていく。
	変わらない	化学工業（企画担当）	・原油価格の上昇が少し頭打ちになってきているため、原材料価格の高騰による影響は、今後小さくなる。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・窯業界の市況は春から夏にかけて下降気味であったが、秋口からは少し持ち直す。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・4月以降、新規案件の問い合わせが少なくなっている。開発投資が少なくなっている様子であるため、今後に向けた拡販のチャンスが減少している。

		<p>金属製品製造業（経営者） 電気機械器具製造業（経営者） 建設業（総務担当） 輸送業（エリア担当） 通信業（営業担当）</p>	<p>・原材料価格は、引き続き上昇する見込みである。市場も縮小するため、販売競争は引き続き厳しくなる。 ・今後は、素材関係、副資材関係の値上げの影響が出てくる。 ・今後も引き続き、原油価格の高騰がすべてに影響する。 ・荷物量の前年同月比はこの半年間ほど横ばいであり、今後も荷物量は増加しない。一方で、原油価格の上昇に伴い諸経費は高くなっていくため、今後も引き続き厳しい。 ・原油価格は上昇傾向が続くため、今後も厳しい状況が続く。</p>
やや悪くなる		<p>食料品製造業（企画担当） 紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者） パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当） 一般機械器具製造業（経理担当） 電気機械器具製造業（経営者） 輸送用機械器具製造業（統括） 輸送用機械器具製造業（総務経理担当） 輸送用機械器具製造業（財務担当） 輸送業（従業員） 輸送業（エリア担当） 輸送業（エリア担当） 金融業（企画担当） 広告代理店・新聞販売店〔広告〕 その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）</p>	<p>・今後、原油価格の高騰に伴う原価上昇分を、商品価格に転嫁する。それに伴い、販売数量は減少し、利益も圧迫される。 ・原材料価格の上昇は続くが、販売価格に転嫁できない。転嫁できたとしても、販売量は減少する。 ・諸物価の高騰により、今後は消費が減少する。その影響で、受注量、販売量共に減少していく。 ・今後も適正な操業度は維持できるが、原材料価格の高騰による影響を受けて、業績は更に厳しくなる。 ・自動車の減産による影響が、今後徐々に波及してくる。 ・主力取引先からの受注量は、少しずつ減少していく。 ・完成車メーカーによる新型車開発の動きがあまりないため、今後は新型車の部品の設計開発部門の仕事がない。 ・自動車の減産による影響が、今後は直接、間接に出てくる。 ・原油価格の高騰と高止まりが続くと、運輸業の倒産が増加する。 ・燃料高、原材料高の影響が広がり、経費が節減されるため、貨物の動きも鈍化する。 ・原油価格の高騰に伴い、燃料価格はこれまでも毎月1リッター当たり10円前後の値上げがあったが、8月にも6～7円の値上げをするとの通知が来ている。 ・企業努力では、今の原材料高には耐えられない。今後も企業収益は圧迫され、不動産の動きも冷え込む。 ・広告発注の動きは冷え込んでいる。今後も販売管理費の圧縮が続くため、景気は良くならない。 ・今の案件は半期単位で終了するが、その後の案件がみえていない。</p>
悪くなる		<p>鉄鋼業（経営者） 不動産業（経営者）</p>	<p>・素材の仕入価格の上昇により、今後も採算は圧迫される。資金繰りの厳しい企業の廃業も進む。 ・金融機関の運転資金、事業資金の融資姿勢が厳しいため、資金繰りが困難になっていく。</p>
雇用関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	<p>人材派遣会社（経営企画） 民間職業紹介機関（職員）</p>	<p>・取引先企業の状況を見ると、今後も変わらない。 ・新規の派遣注文に対しては、企業は慎重である。この状況は今後も続き、派遣需要は減少する。</p>
やや悪くなる		<p>人材派遣会社（経営者） 人材派遣会社（社員） 人材派遣会社（営業担当） アウトソーシング企業（エリア担当） 求人情報誌製作会社（企画担当） 職業安定所（職員）</p>	<p>・ソフト開発会社からの受注状況は、以前と比べて芳しくない。今後もこの傾向は続くため、年齢の高い技術者から余っていく。 ・派遣社員を増員する企業は減っており、注文数は前年同月比で20%も減少している。今後もこの傾向は続く。 ・原材料高の影響を受けて、業績を下方修正する企業が出始めている。今後は、雇用調整を進める企業が出てくる。 ・自動車関連、電機関連の生産が落ち込んでいる。直接雇用も進んでいるため、請負や派遣の受注は急速に減少している。秋頃までは、この傾向が続く。 ・下期の製造業の生産見込みが下方修正されるなど、長期的な見通しが悪化している。そのため、求人数も減少する。 ・現在、雇用調整を検討している事業所が多数ある。原油価格や原材料価格の高騰はまだ続くため、今後の求人数は減少する。</p>
悪くなる		<p>新聞社〔求人広告〕（営業担当） 職業安定所（職員）</p>	<p>・基幹産業の停滞は当分続くため、雇用情勢は悪化する。 ・燃料費や原材料価格の高騰は続くため、企業収益の圧迫によって、企業の求人意欲は減退する。</p>